

種名	イ Juncus effusus 					
	分類	被子植物単子葉植物綱イグサ科	俗称	トウシンソウ	生活型	多年草、抽水植物
分布	日本全土、アジア、北アメリカにも分布する。					
形態	地下茎は短く横にはい、茎は円柱形で中実、高さ25～100cm、基部に紫褐色の葉身のない鱗片葉をつける。花被片は淡緑色、披針形で鋭尖頭、長さ約2.5mm。雄ずいは3個。蒴果は楕円形で断面は3室に分かれ、褐色をおび、花被片とほぼ同長か少し長い。					
類似種						
生息場所	丘陵帯から亜高山帯にいたる湿地や水田など					
繁殖	花期は6～10月で、花序は茎の上部に見かけ上が側生についた集散花序で花序から上の部分は苞である。					
他生物との関係						
配慮のポイント						
引用文献：『改訂新版 世界文化生物大図鑑 植物 単子葉植物』を改変						